

# 学生新聞

放送大学  
埼玉学習センター  
埼玉CSC交流会  
学生新聞  
編集委員会  
〒330-0853  
さいたま市大宮区  
錦町682-2  
TEL048-650-2611

**第10回埼玉フェスタは10月8日・9日  
10年の節目を多彩なイベントで  
盛り上げよう**

**8日の公開講演会は来生副学長**

開始されて以来、今年で10回目を迎える埼玉フェスタが、10月8日(土)～9日(日)の2日間に開催されます。

埼玉フェスタは学生や同窓生、教職員が協力して交流を深めることで、埼玉学習センターを楽しむ学びの場にする事を目標に同センターが開催している学園祭です。このフェスタは、毎年10月の第2週の週末に行われています。

今年のフェスタは例年以上に、イベント担当の各サークルが競って魅力一杯の催しを企画し、日頃の成果を発表しようとして

努力してきました。また、会員以外の一般の方々も楽しんで参加できるイベントにしようと、関係者はこぞって知恵を絞ってきています。

イベントの主な流れは掲載した日程表で把握できますが、大まかな内容は次の通りです。

**10月8日(土)**  
8階の講堂では、11時から「入学者の集い」がフェスタに合わせて行われ、その後は第1講義室にて、「学生証の発行」が併せて行われます。

また、8階の講堂では、14時半から、放送大学の来生新副学長の公開講演会「海は広いな大きいなー海洋国家日本の海の管理ー」が開催されます。

**10月9日(日)**  
9階の第1講義室で10時20分から熟年会の勉強会が予定されています。

また、12時半からはサークルおみやによるフェスタ恒例のDVD鑑賞会があります。8階講堂では10時から朗読の会「こころ」による朗読、オンチーズのオカリナ演奏、健康体操やソシアルダンスと盛り上げるものと期待されています。

2日間共通のイベント

10月8日(土)	8階講堂	
	11:00~	入学者の集い(第1講義室で学生証発行)
10月9日(日)	14:30~16:30	特別公開講演会「海は広いな大きいなー海洋国家日本の海の管理ー」 講演者:放送大学副学長 来生新
	第1講義室	
10月9日(日)	10:20~12:00	熟年会 公開勉強会 「失敗の本質-(旧)日本軍の組織論的研究と福島第一原発の事故対応の類似性について」=講師:佐藤伊一
	12:30~15:00	サークルおみや DVD映画鑑賞会 「薔薇の名前」
10月9日(日)	8階講堂	
	10:00~12:00	朗読の会「こころ」朗読劇 「宮沢賢治ワールド 全四景」
10月9日(日)	12:00~12:45	オカリナ同好会 オカリナ演奏
	12:45~14:15	健康体操研究会 健康体操
10月9日(日)	14:15~15:15	ソシアルダンス
	15:30~17:00	ジャズ演奏会
10月9日(日)	15:45~17:30	懇親会パーティ
	実習室	
10月9日(日)	13:00~15:00	熟年会 パソコン教室

**特別公開講演会**  
**「海は広いな大きいなー海洋国家日本の海の管理ー」**

日本が単なる物理的海洋国家から、海の恩恵をフルに享受する真の海洋国家になるために何が必要か。

**講師:来生新**  
放送大学 副学長

**10月8日(土)**  
**14:30~16:30**

場所:放送大学埼玉学習センター  
8F講堂(申込順:150名)  
申込は以下のHPから  
<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>



**第10回埼玉フェスタ**  
**俳句・川柳投句募集**

- \* 募集期間  
9月1日(木)~9月30日(金)
- \* 応募資格  
放送大学の学生、卒業生、教職員
- \* 優秀句の決定  
フェスタ会場での投票
- \* 優秀句には賞品を授与
- \* 投句方法  
募集要領による

**是非、あなたの一句を!**

その他、実習室では、熟年会が催す「パソコン教室」を楽しめます。

そして、昨年のフェスタで初めての試みとなったジャズ演奏会が、今年も15時半から8階講堂で開催されます。ジャズの生演奏は、最後に予定されている懇親会パーティにおいても、華やかに場を盛り上げるものと期待されています。

2日間共通のイベント

**卒業証書・学位記授与式**

9月25日(日)午前11時から、埼玉学習センター

講堂において、平成28年度第1学期の卒業証書・学位記授与式(卒業生96名・修了生0名)が行われます。また当日は、生涯学習奨励賞の授与も行われ、式終了後、同窓会主催による祝賀会が予定されています。

**【生涯学習奨励賞受賞者】**

**金剛賞** 山口真知子  
**銀賞** 今泉祉衣子  
白井昭治、金子美代子、是村雅一、森作勇二、銅賞 近藤裕二、南雲 薫、長岡精二、大宮 勲 (敬称略)

**平成28年度2学期入学者の集い**

平成28年度第2学期の入学者の集いは、10月8日(土)午前11時から埼玉学習センター講堂で開催されます。

**「カント研究会のご案内」**  
**南雲 功**

カントが西洋の哲学者であることは、日本で多くの人に知られていますが、『純粋理性批判』という書名は知っているも、哲学の内容についてはほとんど知られていません。

昨年の暮れに行われた、サロンしぶや(宗教)の懇親会で、学生の中から、自然発生的にカントを読もうという声がありました。昨年度から所長となられた渋谷先生が、カントの研究者でもあることから、先生の賛同も頂き、その場で7人のカント研究会が結成されたのでした。

何から始めるかということで、いきなり『純粋理性批判』か、その入門書『プロレゴメナ』か、または『永遠平和の為に』にしようかということで議論し、結局量分的にも適当な『永遠平和の為に』に決まりました。どの翻訳にするかということで議論になりましたが、結局、遠山義孝訳ということになりました。ここまで、ごく自然に、たんなる解説書ではなく、日本語訳とはいえ、原典を読もうということでは、会員の意見は一致していました。

2月18日に第1回を開催し、5か月で5回(15時間)かけて65ページを読みました。実にゆっくりしたペースです。研究会の流れは、次回までの読書範囲を指定し、そこまでは熟読してきたという前提で議論を行います。この段階で

は、なかなかカントの深みまで到達できませんが、カントの理想と現実、世界情勢から日常的話題まで、議論はどこにいくかわかりません。その後、先生に参加して頂き、議論の問題点について解説を頂きますが、思いもつかなかったことが、文章の裏から次々に出てきて、驚かされます。

本書はフランス革命とそれに続く西洋列強の駆け引きの時期に、カントがプロイセン政府から弾圧されている中で著述です。表面的表現の裏に彼の真意が隠され、そこまで読み込むことで、彼の希求した人類の理想が現れてきます。カントが生涯希求した人間の理想を追求するための必要条件としての平和であり、理想であることが浮かびあがってきます。7月7日に未熟ながらも完読しました。次は、いよいよ『純粋理性批判』に挑戦します。読了予定時期は10年後です。これだけ時間をかけて一つの書物と向かい合うということは、現代人の忘れていた何かを思い出すことになるのではないのでしょうか。それが何の役に立つのだなどということを超えて、カントと対話しながら自分を見つめなおすという時間を楽しみたいものです。

この浮世離れした研究会に興味のある方の見学をお待ちしています。テキストも持たずに覗くだけでもけっこうです。もちろん、議論に参加することは大いに歓迎します。日時と場所は、8Fのホワイトボードのカント研究会に記載してあります。概ね月1回木曜日を予定しています。

純粋理性批判の上・中・下巻



催されます。

当日は埼玉フェスタ(学園祭)も行われますので、併せてお楽しみ下さい。

**第2学期の面接授業**  
**空席発表は10月15日**

平成28年度第2学期の面接授業の空席発表は10月15日(土)12時から学習センターでの掲示、キャンパス・ネットワーク・ホームページでお知らせします。また、10月21日(金)15時以降は、システムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認できます。追加登録期間は、10月21日(金)から科目ごとに定められた追加登録受付期限日(通常は開講日の1週間前)までとなります。

**「相模原殺傷事件」**  
笹原誠二

都知事選真只中の7月26日早朝、相模原市の知的障害者施設「津久井ひまわり園」に刃物数本を持った男が侵入し、18歳から70歳までの男女19名が死亡、25名の重軽傷者を出すという痛ましい殺傷事件が発生した。

犯人はこの施設の近くに住む26歳の男で、以前地元の小学校で教育実習を経験していたというが、「重度障害者など、生きていても仕方ない。安楽死させたほうがよい」と供述している。しかも、犯行後送検される車の中で、不敵な笑みを浮かべながら、まったく反省の様子もなく、卑劣極まりない態度を示していた。

犯人は以前から犯行予告を示しながら、この計画的犯行を行う際「自分で助けすら呼べない、無抵抗で、人を疑うこともない弱い人々」を就寝中に襲うという非人間的な行為で次々と葬りさつていく。その犯行目的が「障害者はいなくてもよい」という誤った社会観に立っているといわざるを得ない。

人として、社会生活を送る上で、ぜひ心がけておかねばならないこととして「障害のある人もない人も、私たち一人ひとりが大切な存在なのだ」という意識を常に持つていてほしい。男女の違いや社会的地位・収入の違い、肌の色の違い、健康者・障害者の違いで差別的な社会観でもって判断されてはならないと思う。

「人は生きていくこと自体で、その権利の発動において平等であり、差別されるべきではない」ということを私は強調したい。

ティータイム科学談話会 「生命と元素」

コーディネーター 永澤 明 10月15日(土) 14:30~17:00

生命は38億年の間に、環境にある元素をどのように利用しながら、生存と自己複製の機能を持つ生命の仕組みを作ってきたのか、考えてみましょう。

ヨーロッパの屋根・アルプスの絶景

田村 稔

モンテローザ リスカム ブライトホルン マッターホルン



投稿コーナー

アフリカ大陸の大地に感動 馬場 令子

昨年暮れに、「ピースボート地球一周の船旅」に参加した。105日間の船上生活も楽しみだが、沢山の寄港地で、その国の歴史を肌で感じ、現地の人々との交流ができることが一番の楽しみだ。ここでは、ツアーの中でも、特に楽しみにしていたアフリカ大陸での体験をお伝えしたい。

モザンビーク マプト

ついにアフリカ大陸に上陸。1498年、ポルトガルの航海士ヴァスコ・ダ・ガマが南アフリカの喜望峰を越えて到着し、その後ポルトガルの植民地化が始まった。その影響を受け、ポルトガルやアラブの色合いを強く感じる建築物が点在している。17年間続いた内戦が1992年に終結したばかりだ。マプト駅はエッフェル塔で有名なエッフェルが1910年に建てたもので白とグリーンを基調としたビクトリア様式。高さ20mのドーム型の屋根が美しい。外観からは駅とは思えない。同じくエッフェルがポルトガル総督公邸として設計したアイアンハウスは、全面を鉄板で覆われた殺風景な建物だった。期待はぐれで、がっかりした。

マプトでは2人の旅仲間と電車に乗って見た。駅には、時間前に沢山の人が待っていた。1日に2往復しかせず、帰りの電車の時刻が不明のまま乗車した。電車内は地元の人たちで満員だ。椅子はボロボロ、スポンジがちぎれてベンヤ板がむき出しになっている。電車はホームの無い所にも止まり、大きな荷物を抱えた人たちが乗り込んでくる。降りた駅からは街を散策し、運良く見つけたバス停からグューグュー詰めのバスに乗って、無事に駅に戻ってきた。モザンビークでは、日本では経験のできないビックリを経験した。

南アフリカ ケープタウン

ナイフで切り取ったような平らな頂上を持つ「テーブルマウンテン」が有名。20世紀最悪の政策と言われたアパルトヘイ

トが廃止されてから20年が過ぎた。民主主義を勝ち取った国民は初の黒人大統領ネルソン・マンデラ氏を選出し、新しい国作りを進めてきたが、マンデラ氏の後の政治は腐敗と汚職にまみれ、国作りは難航している。

ホームステイ・バスで訪ねた大きな教会では、信者たちが沢山の昼食を作ってくれた。ランチの後の文化交流で私たちは、盆踊り、折り紙、けん玉などを披露した。ケープタウンの人も社交ダンスを披露してくれた。私たちが泊まったホームステイ先では、奥様に浴衣を着せて喜んで貰ったり、ケープタウンの夜景を観に行ったりした。喜望峰の海は荒々しく冷たい波で、ケープタウンの人たちは海では泳がないそうだ。

ナミビアは1990年に南アフリカ共和国から独立を果たしたが、その後も南アフリカの実効支配が続き、1994年にやっと実質的な独立を果たした。しかし、長い間の人種隔離政策はナミビアに社会的、経済的な格差として根深く残っている。国民のほぼ4人に1人がHIVに感染しているという深刻な状況もある。

ナミブ砂漠は私が一番楽しみにしていた観光地だ。この目で実際に見て、肌で感じたいと思っていた場所である。しかし、それは想像を遙かに超えた厳しい自然だった。何処までも続く荒涼とした大地に強い風が吹き荒れ、木も無く、緑も無く、ただただ果てしなく続く砂の大地。唯一あったのが、2000年の寿命を持つというウエルウィッチア(和名は奇想天外)という植物だ。何とも不思議な植物である。直径が3m位あり、大地に細長い葉を広げて子孫を残しながら必死に生きている。見渡す限り続く砂漠と渓谷。乾燥した荒野と砂漠が作り出す雄大な景観は、様々な気象条件の中で刻々とその姿や色調を変化させ、神秘的な美しさを見せてくれる。強い風が作り出す芸術作品、美しい砂紋に魅了されたナミブ砂漠観光だった。

80歳を過ぎてなぜ法律を選んだのか。①昔、民法を学んだことがある。②10年ほど前、条文が現代語化されたのでどのように変わったのか確かめてみたかった。③今、付き合っている「エンディングノート」を普及させる会の活動でいささかでも役立てたいと思つた。特に成年後見制度や家族法の面で正しい知識を学んでおきたかった。

民法を学ぶにあたって戸惑いを感じた。まず、通信指導の10問を5月末までに提出しなければいけない。テキストを読み進むと問題はこの部分から出されるというナ……、ということが分かる。それを繰り返して何とか第一関門を通過すると、しばらくして受験OKの通知がきた。テキストを見ながら正解を見つめるのだから出来見つけの過程がさっぱり面白くない。昔人間の私は学習は新しい知識に触れ、それを吸収し、想像を膨らませてこそ興味を生まれると思っている。しかし、択一式での学習はそれが欠けている。ただ正解を求め、ついに汲み上げた。老人の暇つぶしの勉強だからそれでも我慢するが、若者の勉強にこれだけの努力を要するだろうか。日本語の表現力を磨き、思考力を養うことになるのだろうか。

放送大学に入学して初めて選んだ「日本政治外交史」は講義で東京大学名誉教授の御厨貴先生、日曜日の早朝に時事放談を担当しているのでもし私が持った。テキストを読むと想像力が広がって関連する本を読んだり、博物館などに出かけてみる気持ちにもなった。

「明治以降今日までの政治指導者の中から2人を選び所見を述べよ」とあった。三条実美から安倍晋三までおよそ70人の宰相がいるが、私は大久保利通と吉田茂を取り上げた。戦後70年記念として大久保

利通は佐倉市の歴史民俗博物館で、吉田茂は霞が関の憲政会館で特別展が開催され、見学したことは思い出深い。放送大学に入学していなければこの二つの記念館を訪ねることがなかったかも知れない。レポート提出の一月後、御厨先生から期末試験OKの連絡と共にコメントを戴いた。ハガキの短い文ではあるが、雲の上の先生からのコメントは生涯の宝物である。テキスト以外に関連した図書を教冊ではあるが、それなりに面白かった。読む以前に持っていた浅薄な人物評よりも少しは広く深い知識を学んだ満足感には欠けがえのないものだった。高齢者の生涯学習は楽しさを求めるものや苦痛を伴うものとは異なる。面白く学び、想像力が広がり、途中のレポートの時も期末の試験の時も、講師と真剣勝負の気持ちで論述問題に臨みたいと思う。所詮は頭の体操、ボケ防止として合否は二の次と考えている。



ウエルウィッチア

「民法」を終わって 大西 亮 平成28年度前期「民法」の単位認定試験が終わった。択一式による15の問題、各5問の中から正解一つを見つめる試験であった。4月から7月までに3回ほどテキストを読んで試験に臨んだ。抽象的な法律の条文や判例の回りくどい表現、そして具体的な事例の問題の中から正解を見つけ出す作業はなかなか難しい作業であった。

まず、通信指導の10問を5月末までに提出しなければいけない。テキストを読み進むと問題はこの部分から出されるというナ……、ということが分かる。それを繰り返して何とか第一関門を通過すると、しばらくして受験OKの通知がきた。テキストを見ながら正解を見つめるのだから出来見つけの過程がさっぱり面白くない。昔人間の私は学習は新しい知識に触れ、それを吸収し、想像を膨らませてこそ興味を生まれると思っている。しかし、択一式での学習はそれが欠けている。ただ正解を求め、ついに汲み上げた。老人の暇つぶしの勉強だからそれでも我慢するが、若者の勉強にこれだけの努力を要するだろうか。日本語の表現力を磨き、思考力を養うことになるのだろうか。

放送大学に入学して初めて選んだ「日本政治外交史」は講義で東京大学名誉教授の御厨貴先生、日曜日の早朝に時事放談を担当しているのでもし私が持った。テキストを読むと想像力が広がって関連する本を読んだり、博物館などに出かけてみる気持ちにもなった。

「明治以降今日までの政治指導者の中から2人を選び所見を述べよ」とあった。三条実美から安倍晋三までおよそ70人の宰相がいるが、私は大久保利通と吉田茂を取り上げた。戦後70年記念として大久保

い知識に触れ、それを吸収し、想像を膨らませてこそ興味を生まれると思っている。しかし、択一式での学習はそれが欠けている。ただ正解を求め、ついに汲み上げた。老人の暇つぶしの勉強だからそれでも我慢するが、若者の勉強にこれだけの努力を要するだろうか。日本語の表現力を磨き、思考力を養うことになるのだろうか。

放送大学に入学して初めて選んだ「日本政治外交史」は講義で東京大学名誉教授の御厨貴先生、日曜日の早朝に時事放談を担当しているのでもし私が持った。テキストを読むと想像力が広がって関連する本を読んだり、博物館などに出かけてみる気持ちにもなった。

「明治以降今日までの政治指導者の中から2人を選び所見を述べよ」とあった。三条実美から安倍晋三までおよそ70人の宰相がいるが、私は大久保利通と吉田茂を取り上げた。戦後70年記念として大久保

利通は佐倉市の歴史民俗博物館で、吉田茂は霞が関の憲政会館で特別展が開催され、見学したことは思い出深い。放送大学に入学していなければこの二つの記念館を訪ねることがなかったかも知れない。レポート提出の一月後、御厨先生から期末試験OKの連絡と共にコメントを戴いた。ハガキの短い文ではあるが、雲の上の先生からのコメントは生涯の宝物である。テキスト以外に関連した図書を教冊ではあるが、それなりに面白かった。読む以前に持っていた浅薄な人物評よりも少しは広く深い知識を学んだ満足感には欠けがえのないものだった。高齢者の生涯学習は楽しさを求めるものや苦痛を伴うものとは異なる。面白く学び、想像力が広がり、途中のレポートの時も期末の試験の時も、講師と真剣勝負の気持ちで論述問題に臨みたいと思う。所詮は頭の体操、ボケ防止として合否は二の次と考えている。

俳句 鶯舞ふ日盛の中ただ高く 店奥へ風の通れる新生姜 真白なる雲の輪郭稲の花 もろこしのひげの翁となりけり 砂時計ほどの音して霧時雨

秋のサロン \*「クラシック音楽の魅力」 渋谷治美(埼玉学習センター所長) 埼玉学習センター9F第1講義室 第6回 『宗教曲の真実 ~バッハ、ペルゴレージ~』 10月20日(木) 14:00~16:00 第7回 『歌曲の魅力 ~シューベルト、シューマン~』 11月24日(木) 14:00~16:00

\*28年度第3回 サロンたかの 高野みどり(埼玉学習センター客員教授) 埼玉学習センター9F第2講義室 『心のオアシス-9』 11月26日(土) 14:00~17:00

★活動日 火曜日 囲碁専科 10月23日(日) 10時 9階第4講義室

健康体操研究会 毎週(火) 10時半 12時 8階講義室

サークル案内 サークル おおみや 9月28日(水) ハイキング「城ヶ島探索」 京浜品川駅 10時集合

朗読の会「ハイン」 10月4日、18日 第6回発表会 8階講義室 10月9日(日) 10時 「宮沢賢治ワールド」 全四景

江戸時代の古文書を読む会 10月30日(日) 10時 8階講義室 B 10月23日(日) 10時 9階第4講義室

放送大学熟年会 10月19日(水) 谷中銀座散策と朝倉彫塑館&国立西洋美術館 & 東京都美術館

編集後記 毎号、学生諸氏も楽しみにしていた「世界遺産」を書いて下さっていた荒川良雄さんが体調を崩され、残念ながら、今回は休載となりました。一日も早いご快復をお祈りいたします。(冬)